

# 事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成22年6月18日（金）

研究課題	野生動物による被害の防除に関する研究	
研究期間	平成20年度～21年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	4.0
	2 目標の達成度	3.2
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	3.4
	4 今後の発展性	3.8
	5 総合評点	3.8
<p>鳥獣による農林漁業被害は本県を含め全国的に深刻な問題であり、その防除方法の改善が早急に望まれる。こうした中で、本研究ではカワウによる被害防除について、ドライアイス法の有効性が確認され、具体的に生息数及び営巣数ともに減少傾向が認められた点において高く評価できる。</p> <p>一方、ニホンジカやツキノワグマの研究においては、目標設定が不明確であったり、調査方法に難しさもあるものの、今回得られたデータ等は貴重であり、これらを今後行政貢献を中心に有効に活用してほしい。</p>		